

事業の概況

組合の取り組み

令和2年度のJA事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた景気の後退により米や農畜産物の価格が低迷するなど依然厳しいものとなっています。

こうした中、当組合の自己改革の取り組みとして「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現のためJA一丸となって取り組んで参りました。特に、今年度は第七次中期経営計画の初年度であることから各部門における重点実施事項の達成に向け、進捗管理を行うとともに取り組み内容を実践して参りました。さらに、JAの教育文化活動を通して、地域の方々にJAを理解してもらう活動を行い、JAの取り組みについて情報発信を行って参りました。

主な事業活動と成果については、以下のとおりです。

営農経済部門

第七次中期経営計画に基づく営農Vプラン実践の初年度として、計画の着実な実践と担い手・農業法人組織等に対する営農相談活動の展開を図ってきました。

また、生産資材コスト削減、省力化支援による農業所得の確保対策や新農業倉庫の建設、カントリーエレベーター建設への着手等、被災からの復興を目指した体制の整備にも取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による需要の減少により、肉牛、卵、もろきゅうり等の価格が低迷した他、米の需要も落ち込み令和3年産米の生産数量にも大きな影響を及ぼしました。

このコロナ禍対策として、国、県、市町の補助事業の活用支援を積極的に行うとともに、当組合独自の営農継続支援助成を実施し、農業経営継続の支援を行いました。また、令和3年産米の米価安定に向けて、備蓄米、飼料用米、園芸作物への転換調整にいち早く取り組んで参りました。

〈米穀部門〉

令和2年産米は出穂後の好天に恵まれ、仙南地域において作況指数102のやや良となり、米の集荷数量は24万6千俵(前年対比102.8%)、上位等級率85.9%となり、前年を上回る実績となりました。

〈園芸部門〉

園芸重点作物を中心とした生産振興、販売強化に取り組みました。

〈畜産部門〉

コロナ禍による需要減少により、素牛、仔牛、肉牛とも価格が下落しましたが、年末からの家庭需要が増加し前年同期の価格まで回復しました。

〈加工販売部門〉

コロナ禍によりみやぎ生協との産直交流活動が大きく制限されましたが、消費者ニーズにあった新商品開発提案を行うなど販売強化に努めました。

〈生産資材部門〉

予約・早期配送値引き、大口購買奨励、決済期間の選択など、多様なニーズへの対応と生産資材コスト削減に取り組みました。

〈農業機械部門〉

生産コストの削減支援や経営継続補助事業等による新規導入の提案、更新の推進活動を実施しました。

金融共済部門

〈信用事業〉

選ばれつづける金融機関を目指し、組合員・利用者のニーズに即した事業の展開に努め、特にインターネットを活用した商品の提供や新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じながら年金相談会の開催、貯金奨励品に管内農産物を取り入れたキャンペーンを展開しました。また、出向く体制確立のため金融渉外担当を各支店に配置し資産形成と運用、家計メイン化の提案を展開致しました。更には、担い手農家の訪問を展開し資金対応を実施致しました。

〈共済事業〉

3Q訪問活動による全戸訪問を実践しながら「ひと・いえ・くるま」の総合保障に向けた推進活動を展開し、組合員・利用者とのより一層の関係づくりに努め、生活保障基盤の維持拡大に取り組みました。また、令和3年2月13日発生 of 福島県沖を震源とする地震被害に見舞われた家屋等の損害調査・共済金支払等において迅速かつ効率的な契約者対応に努めました。

管理部門

〈協同活動〉

各地区の地域活性化委員会を基軸に、コロナ禍においても可能な取り組みとして内容を工夫し実施したことが、組合員・地域住民をつなぐ協同活動として高く評価され、宮城県農業協同組合中央会主催の支店協同活動コンクールにおいて、柴田地区事業本部の活動が3年連続で優秀賞を受賞、丸森地区事業本部が優良賞と、当JAから2地区受賞という快挙となりました。

〈組織活動〉

加えてSDGs活動としてのエコキャップ運動や、組織活動としての「あぐりキッズ農業体験活動かべ新聞コンクール」などにも継続的に取り組みました。他にもJAホームページのリニューアルを機に、組合員・地域住民へ向けた質の高い情報発信の強化に努めました。

〈施設整備〉

昨年6月に組合員サービス向上のため、白石支店隣地へ白石農機センターを新築いたしました。さらに、今年3月には、「中小企業等グループ施設等復旧整備事業」の補助事業による新農業倉庫が新築落成となり、今後組合員の生産物の品質保持・利便性向上に期待が高まるものと考えております。

令和2年度事業活動の成果については、組合員の皆様がJA事業を積極的に利用していただいた結果であり、事業利益は69百万円、当期剰余金は2億27百万円を計上することができました。

これもひとえに組合員の皆様のJA活動に対するご理解とご協力の賜ものであり深く感謝申し上げます。ここに令和2年度の事業概況を報告いたします。